



《めざす子ども像》

〇かしこく、やさしく、たくましい子ども

九十九里町立九十九里小学校
九十九里町小関1797-1
TEL0475-76-2071

みんなで力を合わせて・・・

先日の昼休み、木登りを終え、校舎に戻ろうとしている1年生が、ス〜イスイと飛んでいる赤とんぼを見付けました。風がさわやかになり、過ごしやすい季節となりました。秋本番です。

緊急事態宣言が明けて、1ヶ月が過ぎようとしています。感染者数も落ち着きが見られるようになりました。子ども達、保護者の皆様、そして学校と、みんなで力を合わせ感染症対策を行い、やっと、1つの大きな山を乗り切ったという思いがあります。皆様の御理解と御協力に感謝申し上げます。とは言っても、油断できないのが新型コロナウイルス感染症です。これから様々な行事も再開しますので、今後とも感染対策は継続します。改めまして御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



11月の行事予定

※感染状況等により変更になることもあります。御了承ください。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	金管部演奏会 (全校児童・ 金管部保護者) 委員会活動	全校5時間授業 集団下校 14:35	文化の日	向寒マラソン開始 町特別支援学級 校外学習 集団下校 14:35		授業参観 ※地区別分散 学校評価委員会
7	8	9	10	11	12	13
	振替休業日	スクールカウン セラー来校日	ロング昼休み 歯科検診 4~6年	特別日課 4時間 集団下校 12:50	歯科検診 1~3年	
14	15	16	17	18	19	20
	PTA旗振り 集金日 クラブ活動	ブラッシング 指導 1年	マラソン大会試走 ロング昼休み	集団下校 14:35		
21	22	23	24	25	26	27
		勤労感謝の日	学年だより発行 ロング昼休み	校内マラソン大会 集団下校 14:50	校内マラソン大会 予備日	
28	29	30				
	PTA旗振り 委員会活動	焼き芋体験				

岩石園が整備されました。

夏目充先生（本校第9代校長）が岩石園に看板や岩石名のプレートを作り、設置してくださいました。夏目先生は2年生の海の学習で講師としてお世話になっており、子ども達には「浜 洋平（はま ようへい）」先生として、慕われています。

夏目先生は、「遊びながら、岩石を身近に感じて、科学的な芽を伸ばして欲しい。」と、6月からプレートの準備を始め、9月27日（月）に設置してくださいました。

岩石園をはじめ、校地内には15種類36個の岩石があります。ぜひ、36個のプレートを探してみましょう。なお、「かせいがん」とはマグマが冷えて固まった岩石、「たいせきがん」とは海に堆積して固まった岩石、「へんせいがん」とは熱や圧力によって性質が変化した岩石です。



芸術の秋

今年度、新しい試みとして、校内にある「ギャラリーもちづき」の鑑賞に取り組んでいます。子ども達は10月いっぱい、昼休み等に5枚の絵を鑑賞し、自分の好きな絵を選び、掲示板に投票することになっています。どんな結果になるか楽しみです。

「ギャラリーもちづき」とは、九十九里町ゆかりの画家望月定子さんの作品を御厚意で御預かりし、校舎1階・2階の西側廊下に展示しているものです。御来校の際には、ぜひ、御覧ください。



読書の秋

読書週間(10/27~11/9)

標語「最後の頁を閉じた 違う私がいた」



終戦まもない昭和22年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、第1回『読書週間』が開催されました。『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことは変わりありません。暮らしのスタイルに、人生設計のなかに、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとりいれていきませんか。(読書推進協議会HPより抜粋)

7月に行った学校評価アンケートでは、「本をよく読む」との回答は、児童54.0%、教員6.7%、保護者4.2%でした。そこで、11月の生徒指導目標を「本をたくさん読み、豊かな心をつくろう。」とし、「お気に入りの本の紹介」や「読書通帳」、図書委員による「読み聞かせ」を行い、読書の推進を図ります。御家庭でも、秋の夜長、お子さんと読書を楽しまれてはいかがでしょうか。

「子どもを本好きにするには・・・」

絵本館という出版社のポスターが話題となっています。そのポスターには、「子どもを本好きにするには」というタイトルで、以下の「5カ条」が記されています。

- (1) 本代としておこづかいをわたす。
- (2) 子どもといっしょに本屋に行く。
- (3) 親も子どもも自由に本をえらぶ。
- (4) 子どもがどんな本をえらんでもけっしてもんくを言わない。
- (5) そして買ってかえる。



「読むときだけでなく、選ぶ時も楽しめるのが本。本選びに失敗したからといって、何も害がないのだから好きなように選んだ方がいい。選択こそが本好きへの第一歩。」とのお考えだそうです。本屋さんで、子どもが選んだ本に対して「漫画はダメ」「もっと字が多い本にしなさい。」とダメ出しをする親をよく見かけるそうです。ドキッとしました。いかがでしょうか。

10月の行事

10月はたくさんの行事が行われました。今回は「収穫の秋」を紹介します。その他の行事は次号で紹介いたします。



落花生



さつまいも

